



〒253-0105 高座郡寒川町岡田 1-2-8 ウスイグリーンビル 4F TEL: 0467-95-7113

ホームページ: [www.kotobira.com](http://www.kotobira.com) メール: [info@kotobira.com](mailto:info@kotobira.com)

## 発達スクリーニング検査とは

発達検査を受けるべきかどうか迷っている、というご相談を寄せられます。保護者のみなさまは「遠城寺式乳幼児分析的発達検査法」この名称、一度は耳にしたことがあると思います。名前は知らなくとも1歳6か月健康診査、3歳児健康診査などの場でも活用されていますし、もっと小さなときのことで言えば乳児のときの首のすわりや寝返りなども項目のひとつです。

例えば『寝返り』の項目の「あおむけから自力でうつぶせにできれば合格」という判定基準では、月齢6ヶ月児の89.1%、7ヶ月児では90.4%ができるのという数値、これが5ヶ月児では66.7%、4ヶ月児では39.0%という数値です。相談等の場では「早い子は4ヶ月ごろから寝返りを始めるし、だいたい7ヶ月ごろまでにはほとんどの子ができるようになると思いますよ」という表現を用いるなどして、子どもそれぞれの育ちの到達度の目安にします。

この「☆ヶ月児で〇〇%できる」ということを、専門的には『年齢区分毎の通過率』と言います。この検査法の生みの親である遠城寺宗徳先生は、「もともと子どもの発達は十人十色、頭のよい子、手先のきくものいろいろである。脳の発達にも得意があり苦手がある」と仰っています。療育について「くすりや注射ではない、教育である」とも。

「遠城寺式乳幼児分析的発達検査法」は、発達スクリーニング検査です。スクリーニングとは、精密検査を実施するのに先立って、精密検査を要するものと要しないものとにふるい分けることであり、遠城寺式では運動・社会性・言語などの領域でどこに苦手があるかが評価されます。発達の評価なくして療育はないのだそうです。

難しい話になってしまいましたが、5月からどんぐりも開設2年目に入りました。今は子どもも大人も、老人になってからも発達は停滞することはなく、“生涯発達”の考え方が主流です。これからはどんぐりを、保護者の力でどうぞ発展させてください。よろしくお祈りします。

私は、発達検査はおすすめしています。先ずこの遠城寺式からなるのでしょう。早期発見早期療育のための、知ることから始める一歩にもなるかと思えます。1歳6ヶ月から3歳、そして入学まで、その間できるたくさんの方に共にチャレンジしていきましょう。(新)



4月の法改正で報酬改定がありました。別紙お知らせ配布しています。必ず目を通してください。

